ライフサイクル思考が生み出す新たな環境価値
～建築物ライフサイクルカーボン評価制度の可能性～

2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、建築物のライフサイクルを通じた CO2 等排出量（LCCO2）の評価・削減を促進するための制度検討が急ピッチで進められています。建築分野は関係業界の裾野が広く、LCCO2 削減に向けて、設計者、施工者のみならず多様な主体が連携して取り組むことが重要です。

本シンポジウムでは、国の施策の最新動向を紹介するとともに、建築物のサプライチェーンに関わる不動産、金融、素材・建材メーカー等のステークホルダーと共に、制度の具体化に向けた課題と展望を議論します。

日　時	2026 年 7 月 13 日（月）13：30～16：30
会　場	経団連ホール（千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 2 階）＊当日のオンライン配信はありません。
主　催	国土交通省、経済産業省　共催　（一社）日本経済団体連合会、（一財）住宅・建築 SDGs 推進センター
協　賛	住宅・建築 SDGs フォーラム
参加費	無料　定員　280 名

プログラム　※今後変更することがあります。（以下、敬称略。）

開会挨拶 13:30～13:40
宿本　尚吾　国土交通省　住宅局長
伊藤　禎則　経済産業省　GX グループ長
船越　弘文　（一社）日本経済団体連合会　環境委員会　地球環境部会長（日本製鉄（株）副社長）

基調講演 13:40～14:00
建築物ライフサイクルカーボン評価のこれまでとこれから
伊香賀　俊治　建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価等を促進する制度に関する検討会　座長
ゼロカーボンビル推進会議委員長、（一財）住宅・建築 SDGs 推進センター　理事長

情報提供 1 14:00～14:10
GX をめぐる情勢と GX 需要創出施策について
河野　孝史　経済産業省　GX グループ GX 推進企画室長

情報提供 2 14:10～14:20
有価証券報告書におけるサステナビリティ情報開示・保証制度の導入（改正金融商品取引法案）
小長谷 章人　金融庁 企画市場局企業開示課長

情報提供 3 14:20～14:50
建築物ライフサイクルカーボン評価制度の創設（改正建築物省エネ法案）
髙木 直人　国土交通省　住宅局参事官（建築企画担当）

途中休憩 14:50～15:00

パネルディスカッション 15:00～16:25
建築物ライフサイクルカーボン評価が生み出す新たな価値
モデレーター　：清家　剛　東京大学大学院教授、ゼロカーボンビル推進会議WG主査
パネリスト（五十音順）：江里口 玲　太平洋セメント（株）　執行役員　研究開発本部　副本部長
砂田 雄太郎　（株）サイプレス・スナダヤ　代表取締役社長
平川 智久　日本製鉄（株）　環境政策企画部　上席主幹
松野 健太郎　三井不動産（株）　サステナビリティ推進部長
山我 哲平　（株）みずほ銀行　サステナビリティ企画部　担当部長

閉会挨拶 16:25～
今村 敬　内閣官房　内閣審議官

申込方法 下記 URL 又は、右の 2 次元コードからお申し込みください。
お申込み 2 次元コード
https://form.run/@lca2026
※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外には使用いたしません。

問合せ先 （一財）住宅・建築 SDGs 推進センター（IBECs）住宅・建築 SDGs フォーラム事務局
電話：03-5213-4191（平日　10：00～17：00）メールアドレス：sdgsforum@ibecs.or.jp